

松本大学の挑戦と地域連携の取組

地方を支える小規模大学の役割と評価のために



松本大学＝「地域必需品大学」の背景

①大学と松本市のコンセプトの共有

「地域の若者を地域で育て、地域に戻す」

➡ 若者の地域定着 地域の労働力

②地域に必要な学科は何か

歴史的商都 ➡ 「総合経営学科」

観光都市 ➡ 「観光ホスピタリティ学科」

健康寿命延伸都市 ➡ 「健康栄養学科」「スポーツ健康学科」

「学都」学問の都市 ➡ 「学校教育学科」

③独自の教育手法

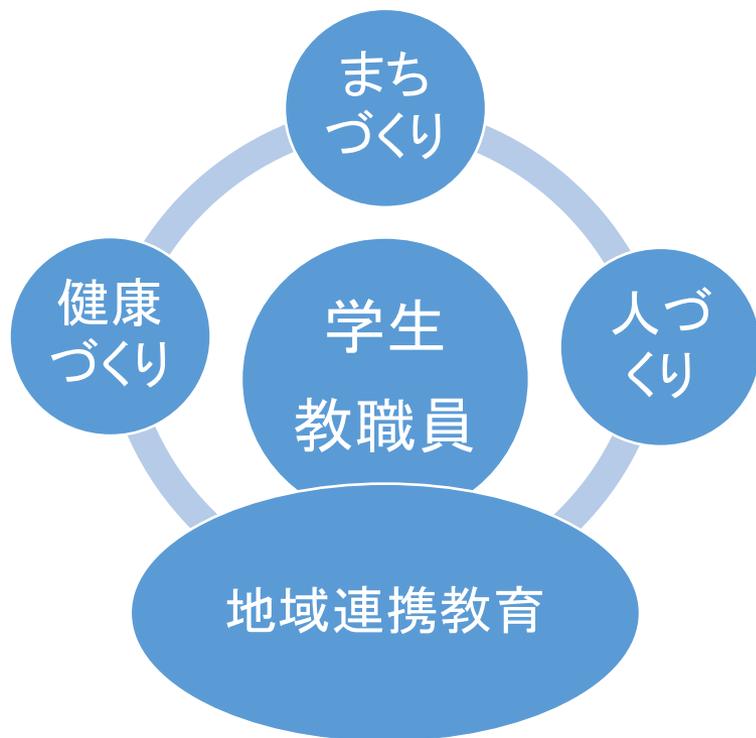
地域資源を教育に活用 ➡ 「地域連携教育」

④松本市の活性化

松本市と市民の活力 + 大学の教育力 ➡ 「地域理解」「地域愛」

「教育」を核とした地域連携

松本大学のキーワード



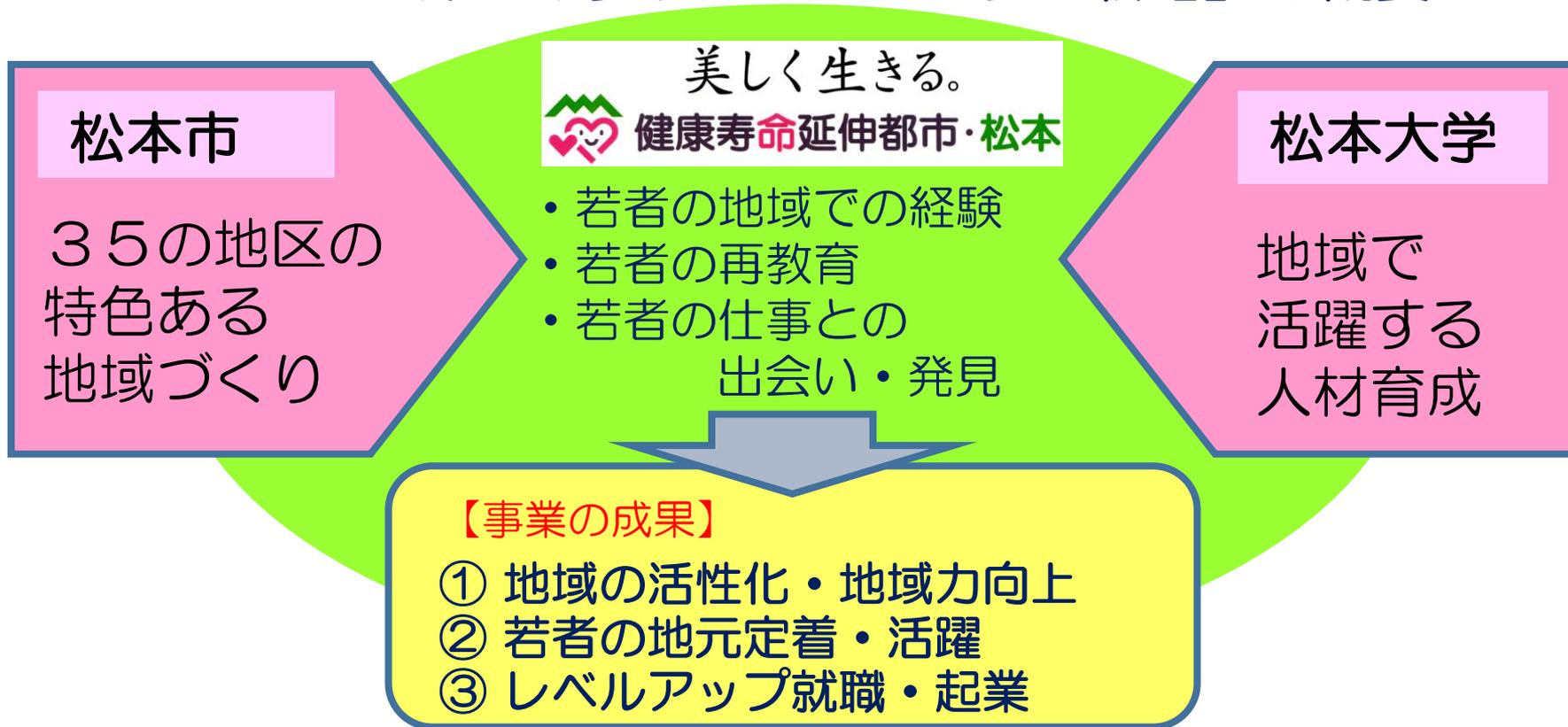
教職員の共通認識

- 大学は教育の場である。
- 地域活動にどのような教育的な意義を見出すか。
- 学生をどのように成長させるか。

大学は地域活性化のひとつの歯車ではなく、その使命は教育を通じて若者を如何に育てるかにかかっている。

地域連携教育の事例① 松本市との『地域づくりインターンシップ戦略事業』

〈松本版総合戦略〉 地域づくりを推進し、地域で活躍できる人材を育てる
「地域づくりインターンシップ戦略」の概要



35地区での地域づくりを進める松本市と、地域連携教育に実績のある松本大学の協働により、地域づくりへの若者の参加を促し、地域の活性化を図るとともに、若者雇用・教育の新たなシステムの構築を目指している。(委託費15,820千円)

地域連携教育の事例② 松本市との『もったいないクッキングレシピ』の開発と普及

おうちで

松本市が消費者庁・農水省・環境省主催のシンポで発表

◇残さず食べよう！30・10運動 家庭での食べ残しを減らす取組み H26～

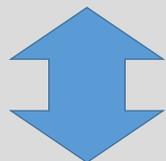
家庭版

30日 ⇒ 冷蔵庫クリーンアップデー

期限の近い物、残り物を使い切り冷蔵庫を空に

10日 ⇒ もったいないクッキングデー

今まで捨てていた野菜の茎等を使うことに挑戦



キーワードは「**30・10**」

覚えやすい

語呂が良い

飲食店版

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後**30**分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前**10**分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

食べ残しを含めた食品ロス全体の削減へ（生ゴミ26%減）

もったいないクッキングレシピの開発 家庭での食べ残しを減らす取組み

家庭からの食品ロス

過剰除去

食べ残し

もったいないクッキングレシピの開発

◎丸ごと料理

食材を無駄なく
まるごと使ったレシピ

◎リメイク料理

余った料理を作り変える
レシピ



松本大学

×

松本市

学生の柔軟な発想

食品ロスに関する情報提供
レシピの製本 (HP・公民館で配付)



松本大学地域づくり考房「ゆめ」
チーム「◎いただきます!!」



ブロッコリーをまるごと使ったドーナツ

高齢者向け健康づくりのための「健康づくり講座」



本学学生が指導者として健康づくり講座を企画・運営している。



多くの自治体で、本学卒業生が「健康運動指導士」の専門職として採用され、地域の健康づくりを推進している。

- 【成果】**
- 健康づくり教室の普及
 - 松本市の実践者の医療費2割削減(熟年体育大学リサーチセンター調べ)

プロサッカーチーム「松本山雅」との 「連携協定」による活動

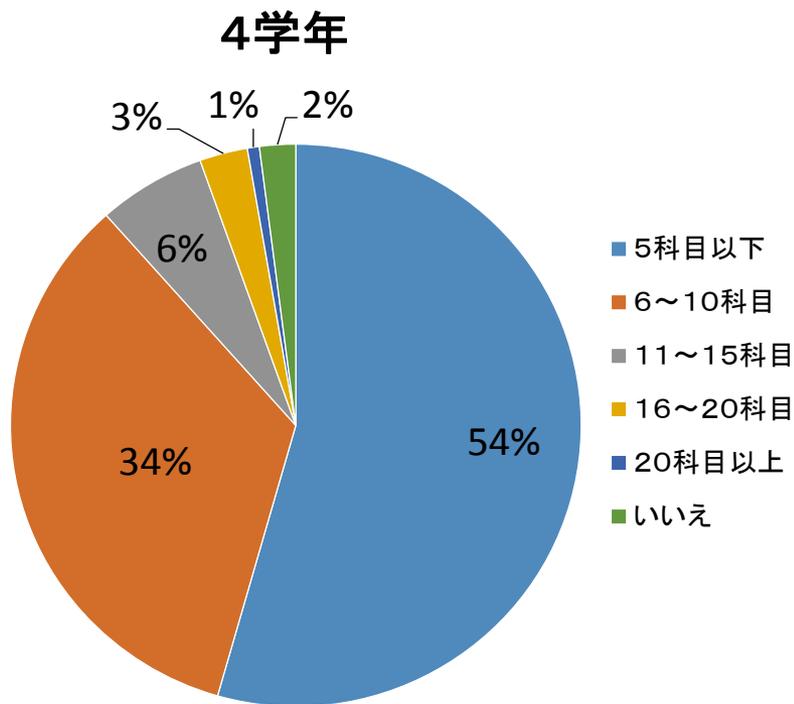
●松本大学・松商学園高校のサッカー部
監督・コーチの派遣による選手育成
一大学の枠を超えて、松本市民が応援席に。

●松本山雅応援「スタめし」プロジェクト
アルウィンで行われる松本山雅の試合時に
提供する「スタジアム食・通称スタめし」を企
業と一緒に商品化して販売している。

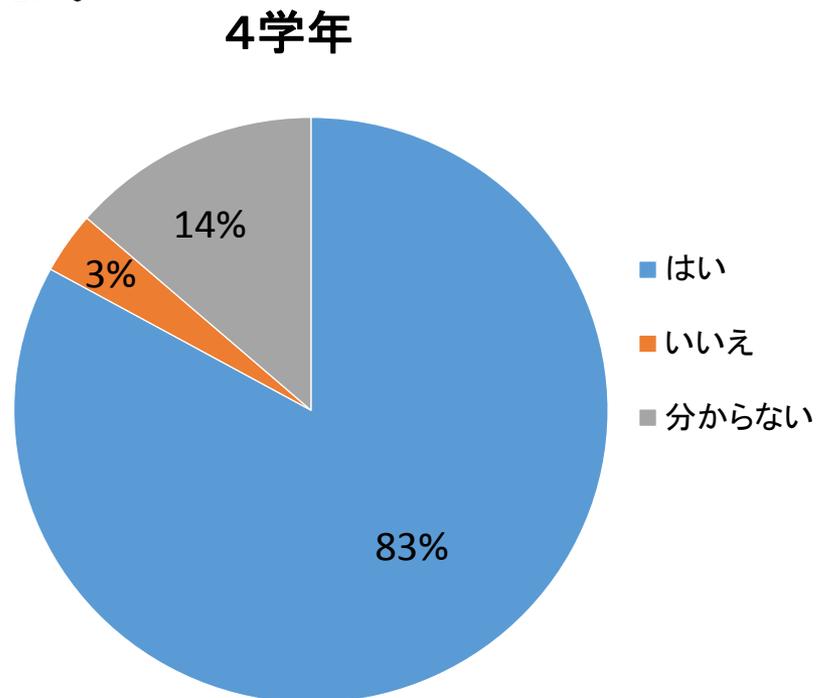


COC学生アンケートから見えるもの

松本大学が「地域のための大学」として実施する授業科目を受講したことがありますか。

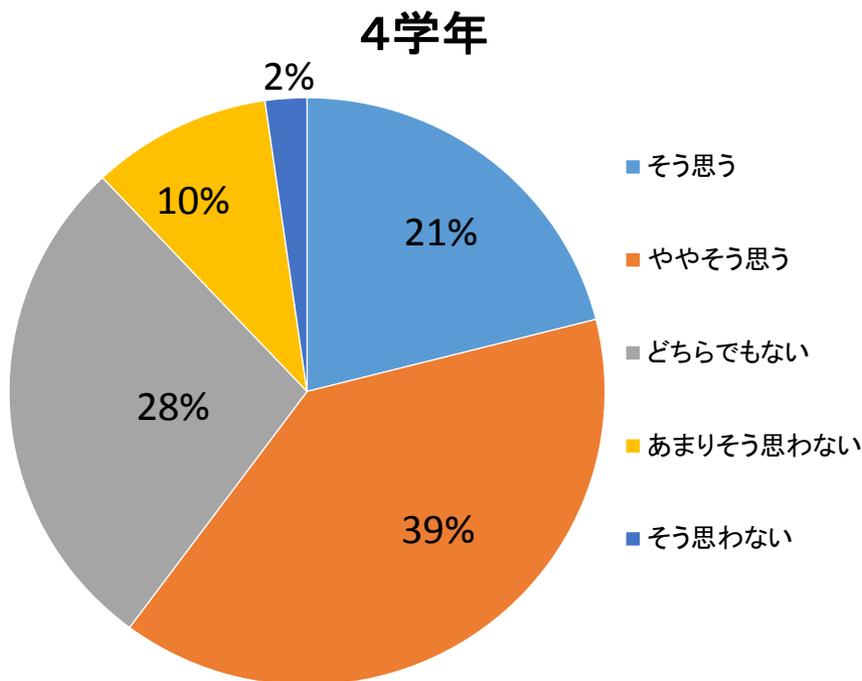


松本大学が「地域のための大学」として実施する授業科目を受講した結果、地域の現状や地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。



COC学生アンケートから見えてくるもの

「地域のための大学」として実施する授業科目の受講が、長野県の企業や自治体等に就職したいと思うきっかけになりましたか。

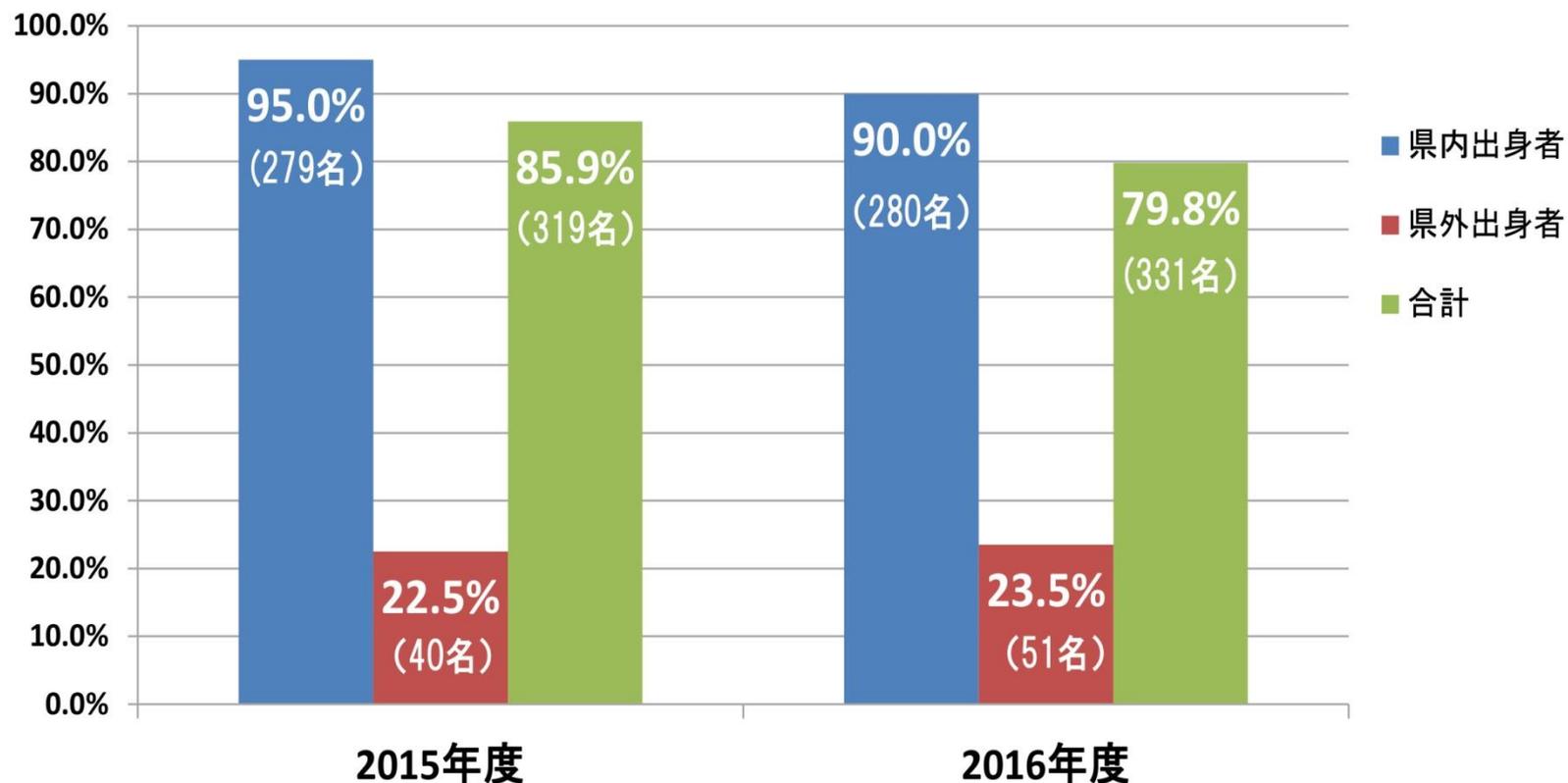


【事由記述から抜粋】

- ・県外に出ることしか考えていなかったが、県内も視野に入りたい。
- ・地域の活性化に繋がるような事業をしたい。
- ・地域型のイベントに参加してみたいと思いました。
- ・地域のために何が出来るか考えたい。
- ・村おこし等に貢献したい。
- ・地域の抱える問題を解決できるように努めたい。
- ・地元で就職して、知識を役立てたい。
- ・地域の問題解決の手助けになればと思う。
- ・地域に対する考え方や見方が広がりました。
- ・地域でのスポーツ関連活動に役立てたいと思う。
- ・地域でスポーツ関連の仕事に就いて、役に立ちたいと思う。
- ・知識を活用して、地域の活性化になるような活動をしたい。
- ・知識を活かせる職業に就こうと考えている。
- ・長野県民を健康長寿にする活動をしてみたい。
- ・知識を活かして、社会貢献ができる仕事に就きたい。
- ・公務員になり、地域のスポーツを振興させたい。

地方の企業を支える掛け替えのない労働力 「地域を愛して、地域で仕事をする。」

県内就職率(総合経営学部・人間健康学部)



小さな地方
大学からの

高等教育に対する小さな政策提言

地方大学と首都圏、海外の大学の学生の交流の場の創設

○たとえば...

「青少年自然の家」の都市版

ex.「学生若者未来創造国際センター」

自治体単位(規模による枠組み)

国が支援(遊休施設の経費転換)

企業の抱える寮や廃業の旅館・ホテルの
転換支援。

【期待される効果】

「資源の有効活用」「学生交流の活性化」「若者の成長」「大学間の単位互換の推進」

リカレント教育の学費支援

○たとえば...

進行する**少子高齢化社会**に対して、**リカレント教育**を推進するのであれば、**本気で学ぶ社会人学生の就学支援の仕組みづくり**が肝要。

一般学生と社会人のために、**なくてはならない「小回りの利く地方大学」**

【期待される効果】

「健康寿命延伸」「医療費削減」「地域活性化」「新たな労働力の創出」「女性労働者のM字カーブの改善」